

科目名	図書及び図書館史
科目分類	社会情報学部-司書課程
担当教員名	富田 美樹子
ローマ字	Tomita Mikiko

1. ねらい

司書課程を学び始める学生に、人類の叡智はどのように表現され蓄積されてきたかを学ぶことで、人類の素晴らしさを感じ取ってもらいたい。その叡智の集積の場である図書館は、メディアの進歩と社会との関わりのなかで発展し、形態を変えてきた。その歴史を学ぶことで、図書館が現代社会において果たすべき機能と役割についても考えるきっかけとする。時間的に可能であれば、特徴的な図書館の見学も行いたい。

2. 内容

主として以下の内容を組み込んで、授業を行う。

- ① 導入、文字及び記録媒体・印刷技術の歴史
- ② 古代～中世の図書館：図書館の起源、アレクサンドリア図書館、修道院図書館、大学図書館
- ③ 近世～近代の図書館：フランス、ドイツ、イギリス、アメリカ、貸本屋・会員制図書館、公共図書館、国立図書館、図書館思想、各館種・機能の確立
- ④ 20世紀の図書館：文献生産量の増大化、国内・国際図書館協力、図書館の機械化、情報化社会の到来、電子図書館
- ⑤ 日本の図書館の歴史：百万塔陀羅尼、図書寮、芸亭、金沢文庫、足利学校、紅葉山文庫、貸本屋、新聞縦覧所、公共図書館、国立国会図書館

3. 評価

出席状況、授業態度、提出物を4割、期末試験を6割で評価を行い、60点以上を合格とする。

4. 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 寺田光孝編『図書及び図書館史』（新・図書館学シリーズ 12）樹村房
（集中講義となるので、授業開始までに通読しておくこと）